

ケーブル・プラットフォーム 社外委員会(ジャパンケーブルキャスト(株))
第1回議事要旨

日時 :2015年7月16日(木)11:00~12:00

場所 :日本デジタル配信株式会社 会議室

(参加者)(敬称略・五十音順)

(委員長) ※委員会にて、選任

舟田 正之 立教大学 法学部 名誉教授

(副委員長) ※委員会にて、選任

音 好宏 上智大学 文学部 教授

(委員)

齋藤 晴太郎	齋藤総合法律事務所 代表・弁護士
佐藤 英生	大分ケーブルテレコム株式会社 代表取締役社長
秦野 一憲	株式会社中海テレビ放送 代表取締役社長
松本 正幸	一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 専務理事
田中 慶彦	ジャパンケーブルキャスト株式会社 取締役

(オブザーバー)

遠藤 昌男	株式会社 J.COTT 代表取締役
大熊 茂隆	ジャパンケーブルキャスト株式会社 代表取締役社長

(事務局) ※委員会において、委員長より指名

中川 実	ジャパンケーブルキャスト株式会社 社長付
那須野 英樹	ジャパンケーブルキャスト株式会社 PF 事業本部推進部
山田 協	一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 審議役

議事要旨

1. 委員長、副委員長の選任

- ・委員間の互選のもと、委員長に舟田 正之委員が選任された。
- ・委員間の互選のもと、副委員長に音 好宏委員が選任された。

2. 議事進行

- ・委員長より、下記 3 名が事務局として指名された。
(社)日本ケーブルテレビ連盟 山田 協
ジャパンケーブルキャスト(株) 中川 実、那須野 英樹
- ・委員長承認のもと、議事進行は事務局が務めることとなった。

3. ケーブル・プラットフォームの役割について

- ・ケーブルテレビ事業者、視聴者、ケーブル・プラットフォーム事業者、番組供給事業者の役割と関係について、参加者一同にて確認した。

4. 委員会への意見及び質問申し入れ手続きについて

- ・事務局より、ケーブルテレビ事業者より、意見及び、質問がある場合の申し入れ方法として『資料 1-3-2』の“意見・質問書(雛形)”書式を用い、“一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟「ケーブル・プラットフォーム社外委員会」事務局宛”に提出することが案内された。
 - ・また、ケーブルテレビ事業者が意見・質問をする場合は当該ケーブル・プラットフォームとの話し合いがすでに行われている事項である。ということが確認された。
 - ・なお、オフィシャルな質問は前述の書式をもって提出され、委員会で協議されるものであるが、別途相談や、質問事項などは口頭でも委員会で発表、提示したほうが良いこともあるため、柔軟な対応をしていくことも確認した。
- 参加者にて確認された。

5. 報告と質疑

- ・『放送法第 155 条に定められた業務の実施方針』につき「JCC はケーブルテレビ事業者に出資をしているか？」という質問に対し、JCC は茨城県日立市にある JWAY という会社に出資していることが確認された。
- ・放送サービスの高度化のために、JCC 及び関連会社である J.COTT の活動として『参考資料 地域密着版 cottio「地もっティオ」のご提案 』をもとに説明があった。主な内容として、J.COTT の資本金が 2 億円となったこと。地域密着型「地もっティオ」を開始し、気仙沼ケーブルネットワーク様他で採用が決定したこと、ケーブルテレビ連盟新サービス委員会での説明を希望していることが説明された。

- ・また、2015年6月時点で9局となり、「地もっティオ」を開始してから、ケーブルテレビ事業者様からの反応が増えたことが報告された。
- ・資料1-4-2『「放送法第155条に定められた業務の実施方針」に関する報告(2015年4月～6月期)』の説明がされた。
- ・JCCでは、役員体制の変更として、代表取締役社長であった田中と、副社長であった前田が一般の取締役となり、大熊が代表取締役社長となったことが案内され、「上場を目指します」と報告があった。

6.次回以降の日程について

- ・委員会は、原則として3か月に1回開催されることが確認され、次回以降の日程と候補が案内された。
第2回:10月14日 16:30～ 場所:ジャパンケーブルキャスト株式会社会議室
第3回:1月15日 10:00～ 場所:日本デジタル配信株式会社会議室
第4回:4月14日 10:00～ 場所:ジャパンケーブルキャスト株式会社会議室

なお、今後、当日会場に来られない方が出たときの委員会進行方法として、電話会議やスカイプ方式を検討することとなった。

以上